

平成31年度 下水道事業会計予算の概要

平成31年(2019年)4月
札幌市下水道河川局



1 公営企業会計の特色

- 公営企業会計の収支は**収益的収支**と**資本的収支**の2種類に区分されます。

【収益的収支】

- ・ 施設の運転、維持管理に関する収支
- ・ 1年間の経営成績を表す

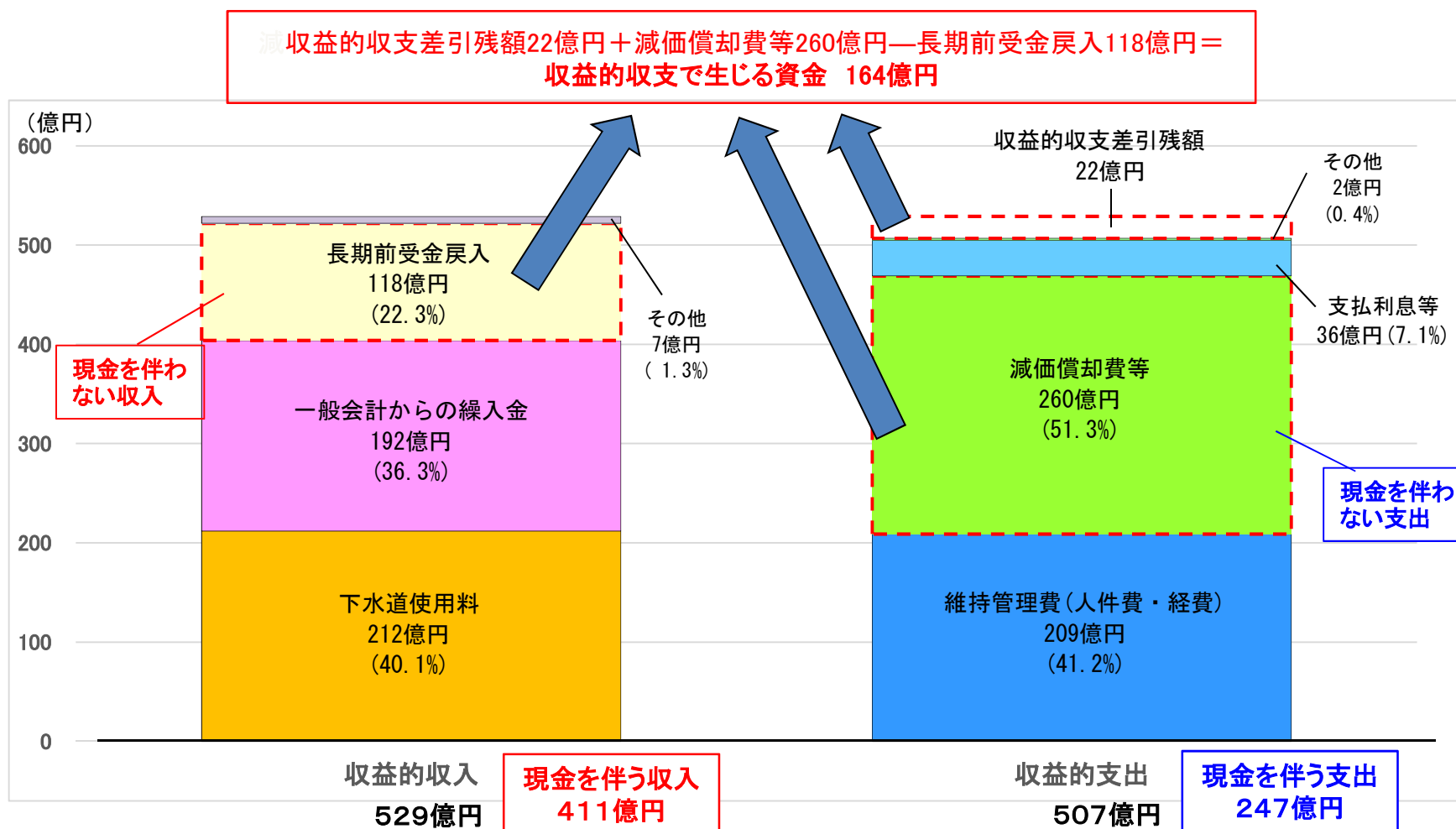
【資本的収支】

- ・ 施設の建設・改築に関する収支
- ・ 収入と支出の効果が複数年に及ぶ

- 収益的収支で生み出した資金は、資本的収支の収支不足を補うために使用します。

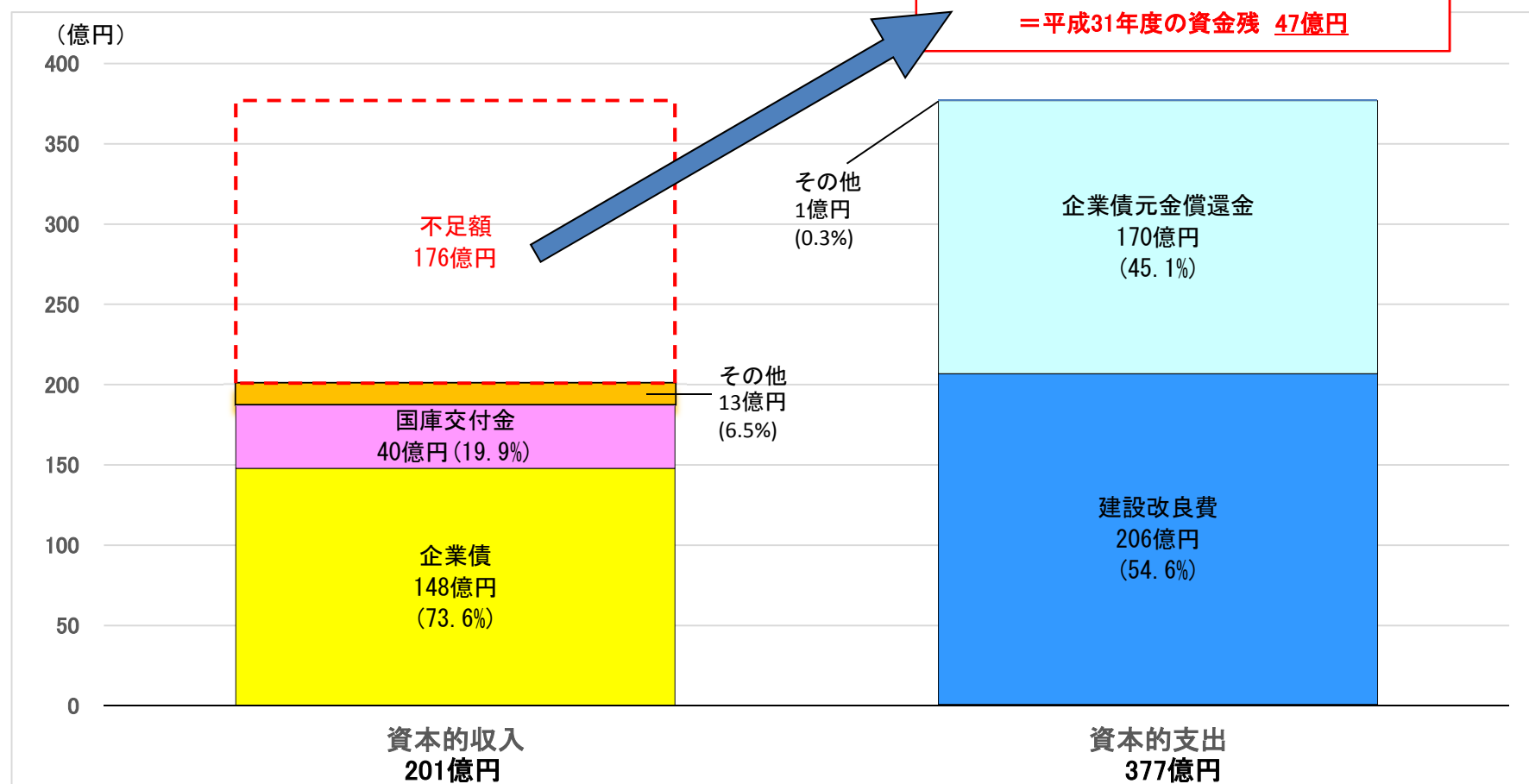
2 平成31年度予算の概要(収益的収支)

- 収益的収支は22億円の黒字となり、減価償却費等による内部留保資金と合わせて164億円の資金を生み出します。



2 平成31年度予算の概要(資本的収支)

- 資本的収支は176億円の資金不足となり、収益的収支で生み出した資金と前年度の資金残で補てんします。



2 平成31年度予算の概要（平成30年度予算との対比）

【収益的収支】

収入では下水道使用料の増及び一般会計繰入金の減、支出では委託料の増等があり、収支は8億円悪化します。
（30億円→22億円）

【資本的収支】

収入では企業債の増、支出では建設改良費の増及び企業債償還金の減等があり、収支は5億円好転します。
（△181億円→△176億円）

【資金残】

収支の悪化等により、資金残は13億円悪化します。
（60億円→47億円）

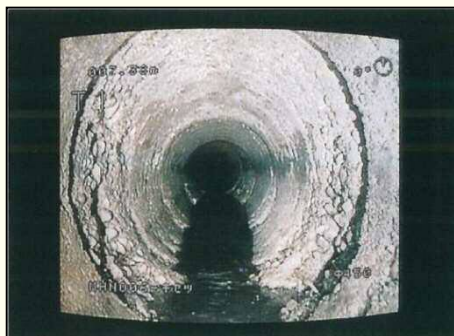
3 平成31年度予算の主要事業

【下水道施設の再構築】 老朽管の改築

- 札幌市の下水道施設は、昭和40年代から50年代に集中的に整備を進めたため、将来、耐用年数(50年)を超える管路の急増が見込まれます。
- 今後は、管路の状態や不具合の程度を調査し、修繕による長寿命化を図るか、改築を行うかを総合的に判断し、計画的に管路の改築を進めていきます。
- 改築事業量については、段階的に増加させていく予定であり、平成31年度は、25.4kmの改築を実施する見込みです。

下水道施設の整備状況

昭和初期に整備した下水管（老朽管）

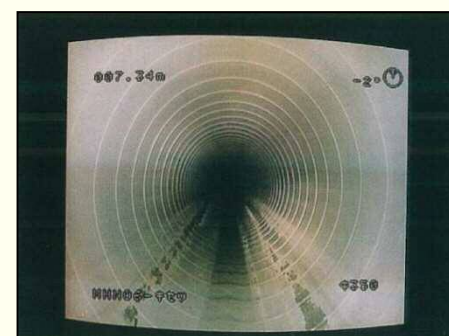


(更生前)



管更生工法による改築

管更生工法による管路の改築



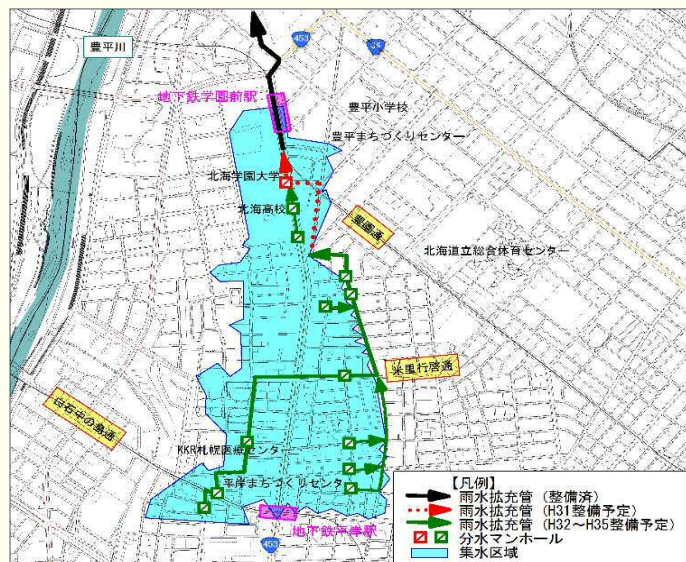
(更生後)

3 平成31年度予算の主要事業

【下水道施設の災害対策（浸水対策）】雨水拡充管の整備

- 近年の全国的な集中豪雨の増加や都市化の進展により、浸水の危険性が高まっており、浸水対策事業の早期の推進が求められています。
- 札幌市では、国の補助事業である「下水道浸水被害軽減総合事業」を活用し、平成31年度から平成35年度までの期間で、平岸地区における雨水拡充管の整備を行っています。

平成31年度整備箇所図



雨水拡充管イメージ図

